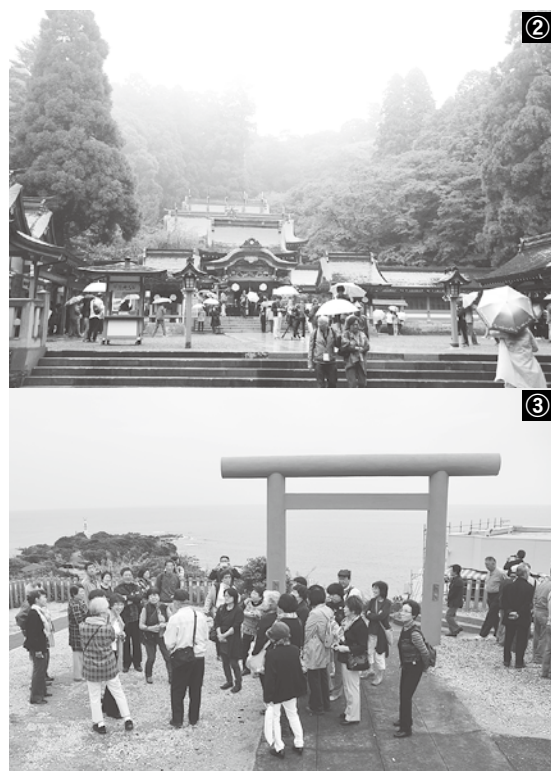


日置市美山窯元祭り訪問交流 町民ツアーが行われました

17年ぶりとなる「日置市訪問交流町民ツアー」が
10月30日～11月2日の3泊4日で開催されました
ツアーには31人が参加し
本町の姉妹都市・鹿児島県日置市を訪問
風土や文化の違いに触れ
市民の皆さんとの友好を深めました



町と鹿児島県日置市とは、同市出身の永山在兼氏（1889～1945年）が釧路土木出張所長時代、本町と阿寒湖畔を結ぶ約40キロの阿寒横断道路（国道241号）整備に尽力したことが縁で、1983（昭和58）年に姉妹都市盟約を締結しました。この道路の完成が、阿寒国立公園の指定や本町の観光振興に大きく寄与したことは言うまでもありません。

これまで、中学生の派遣交流をはじめ、両市町の記念事業やイベントへの参加、最近ではそれぞれの特産品の相互販売など、さまざまな分野で交流が続けてきました。

一昨年には姉妹都市盟約締結30周年。今後さらなる交流をと、昨年には日置市から訪問交流団を迎えました。そして今回、1998年の薩摩焼400年祭町民視察団以来17年ぶりとなる「日置市美山窯元祭り訪問交流町民ツアー」が実現したのです。

10月30日(金)

水点下の気温の中、南国の鹿児島県日置市を目指し、バスで女満別空港に向かいました。女満別空港を出発後、羽田空港で乗り継ぎ、昼過ぎに鹿児島空港に到着。天候はあいにくの雨でした。チャーターバスに乗り換え、雨の霧島神宮を参拝。砂風呂で有名な指宿温泉に宿泊し、1日

10月31日(土)

目の疲れを癒やしました。

薩摩半島の最南端の岬、長崎鼻を目指して指宿温泉を出発。雄大な開聞岳（火山）を横目に走る約30分、長崎鼻に到着しました。浦島太郎伝説の地といわれ、竜宮神社があり、皆さん思い思いに参拝しました。

長崎鼻を出発し、イッシー伝説！（屈斜路湖のクッシーと同じ？）のある九州最大の湖、池田湖を経由して知覧武家屋敷、特攻平和会館に向かいました。江戸時代からそのままの景観を残した知覧武家屋敷の庭園を見て、昼食の後は同じく知覧にある特攻平和館を見学しました。特攻隊として戦地へ赴く若き兵隊の遺影や遺品、家族へ宛てた遺書が展示されていて、胸を締め付けられる思いを感じました。皆さん、平和を祈りつつ、涙を拭きながら見学しました。

その後、日置市に入り、美山窯元祭り前夜祭に参加。今回の美山窯元祭りは、第30回国民文化祭の催しとしても位置づけられていて、多くの方でにぎわっていました。オープニングでは、郷土伝統芸能の棒踊りや太鼓踊りが披露され、昔ながらの歴史や文化を肌で感じることができました。開会式では、姉妹都市交流訪問団として会場の皆さんに紹介されました。また、薩摩焼の起源で

11月1日(日)

ある韓国との交流合同演奏や、テコンドー（格闘技の一種）が披露され、その迫力に圧倒されました。この日は、鹿児島市内で宿泊しました。

永山在兼氏の記念碑に献花した後、市職員の方の案内で日置市内を観光しました。吹上浜（砂丘海岸）を一望できる遠見番山公園を訪れ、ミカン狩りを体験し、新鮮な海産物が販売されている江口蓬菜館を見学して、昼食をいただきました。その後、再び美山窯元祭りの会場へ。皆さん思い思いに薩摩焼の窯元を見学し、買い物を楽しみました。

吹上砂丘荘に移動し、夜はいよいよ日置市民の皆さんとの交流会。別用務で九州入りしていた徳永町長と本町議会議員も合流し、総勢100人を超える交流会となり、盛大な歓迎を受けました。これからも、人と人の交流を通じて異文化に触れ、両市町がさらに発展していくことを誓いました。

11月2日(月)

最終日は鹿児島市内観光。桜島を一望できる城山は、西郷隆盛が最期の5日間を過ごした場所としても有名です。皆さんはバスガイドの説明に熱心に聴き入り、西郷隆盛に思

北と南、気候風土が違う2つの市町。永山在兼氏がもたらした縁で、旧東市来町と交流が始まりました。その後、合併により日置市となりました。からも姉妹都市盟約を継続していただきました。日置市の皆さんのご理解があったからこそ続けてこられた交流。これからも末長く、幅広く、世代を超えた交流が続くことを願っています。

□問い合わせ先
／役場まちづくり政策課 政策調整係 ☎ 82-2913
(課直通)まで。

- ①永山在兼氏の記念碑に献花 ②雨に煙る霧島神社 ③長崎鼻の竜宮神社 ④知覧武家屋敷
- ⑤知覧特攻平和館 ⑥美山窯元祭りの前夜祭 ⑦ミカン狩りも南国ならでは
- ⑧たくさんのおもてなしを受けた日置市民との交流会 ⑨桜島を望む仙巖園

参加者の皆さんから

(一部抜粋)

- ▷日置市での手厚いおもてなしに感動しました。これまで培ってきた長年の交流の結果なのだと思えます。
- ▷本州では古くからの歴史を守り続けてきたこと、若者が中心に活動していることをも眼前に見て感動しました。鹿児島市の城山で、西郷隆盛の辞世の七言絶句「城山」を吟じたことは、一生の思い出になりました。
- ▷以前、子どもが中学生派遣交流事業でお世話になったご家族の皆さんとも再会でき、受け入れ先の皆さんの素晴らしいおもてなしや、同行の皆さんの優しさや温かさにもたくさん触れ、桜島を背に西郷隆盛の詩吟を吟じてくれた先輩にも感動。
- ▷陶芸を趣味にしているので、窯元を視察できることを楽しみにしていました。とにかく素晴らしかったです。ミカン狩りも楽しみでしたが、たくさん取らせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。自分で採ったミカンは、とても甘くておいしいです。

